

令和 7 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	B組	C組	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 アルティメット	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				8
	【知識及び技能】 基本動作の修得、ゲームに向けた連携を身につける	・指導事項 基礎技術の習得	【知識及び技能】 基本動作の修得、ゲームに向けた連携を身につけ実践することができる			
	【思考力、判断力、表現力】 技術的な課題や有効な練習方法の考える	・教材	【思考力・判断力・表現力】 技術的な課題や有効な練習方法の考えることができる	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たす	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる	○	○	
単元 2 スポーツテスト	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				4
	【知識及び技能】 自身の体力状況を把握し、記録の向上を目指す	・指導事項	【知識及び技能】 自身の体力状況を把握できている			
	【思考力、判断力、表現力】 生活における運動習慣及び生活習慣などの状況を把握して改善のために必要な運動を選択する	・教材	【思考力・判断力・表現力】 生活における運動習慣及び生活習慣などの状況を把握して改善のために必要な運動を選択できる	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 体力、運動能力を向上させるための知識を身に付ける	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 体力、運動能力を向上させるための知識が身につけている	○	○	
1 学期 単元 3	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				10
	【知識及び技能】 知識の理解を基に運動の技能を身に付けたり、知識と技能を関連させて学習させる	・指導事項	【知識及び技能】 生徒相互の技術の教えあいと協力により技術が向上するよう取り組む			
	【思考力、判断力、表現力】 体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する	・教材	【思考力・判断力・表現力】 体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる	○		
	【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をすることができる			
単元 4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				10
	【知識及び技能】 知識の理解を基に運動の技能を身に付けたり、知識と技能を関連させて学習させる	・指導事項	【知識及び技能】 生徒相互の技術の教えあいと協力により技術が向上するよう取り組む			
	【思考力、判断力、表現力】 体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する	・教材	【思考力・判断力・表現力】 体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる	○		
	【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をする	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をすることができる	○	○	
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 **7** 年度 年間授業計画 教科 **保健体育** 科目 **体育**

教科: **保健体育** 科目: **体育** 単位数: **3** 単位

対象学年組: 第 **3** 学年

教科担当者:	A組	B組	C組	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 **保健体育** の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 **体育** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 水泳	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ	泳法の習得	手と足のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
自分に適した効率を高める泳法を身に付ける		自分に適した効率を高める泳法で泳げる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加する		水泳の事故防止に関する心得などを理解し、周囲に気を配り授業に参加できる				
単元 6 インディアカ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
基本動作の修得、ゲームに向けた連携を身につける	基礎技術の習得	基本動作の修得、ゲームに向けた連携を身につけ実践することができる				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
技術的な課題や有効な練習方法の選択をする		技術的な課題や有効な練習方法の選択をすることができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たす		ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる				
2 学 期	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説					
単元 7 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球(種目選択)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
知識の理解を基に運動の技能を身に付けたり、知識と技能を関連させて学習させる		生徒相互の技術の教えあいと協力により技術が向上するよう取り組む				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する		体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
フェアプレイを理解して大切に、ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受けその責任を果たす		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をすることができる				
単元 8 サッカー、ソフトボール、ハンドボール、テニス(種目選択)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
知識の理解を基に運動の技能を身に付けたり、知識と技能を関連させて学習させる		生徒相互の技術の教えあいと協力により技術が向上するよう取り組む				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する		体力の高め方や運動観察の方法などを理解すると共に作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
フェアプレイを理解して大切に、ルールやマナーを守り役割を積極的に引き受けその責任を果たす		互いに助け合うことで相互の信頼関係を深め、課題解決に役立つ自主的な活動をすることができる				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 7 年度 年間授業計画 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組	B組	C組	D組	E組	F組	G組
使用教科書:	現代高等保健体育						

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能が身につけられるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	生涯に渡って運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	運動における競争や協働の経験を通して、運動に対する意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計画的な実践に関する具体的な事項や運動を継続するための理論について理解しているとともに目的に応じた技能を身に付けている	課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り合わせ方を工夫しているとともにそれらを他者に伝えることが出来る	運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう運動の合理的計画的な実践に自主的に取り組む

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				18
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
3 学 期	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						